

「震災遺産と向き合う視点から」ワークシート

【留意事項】

※つらいと感じる内容や、考え込むのが難しい問いには無理に答える必要はありません。

ご自身のペースで取り組んでください。

1. 【体験】与えられた「問い」に向き合う…与えられた「問い」に対する、あなたの考えや気づきを書いてみましょう。

問い	
メモ 考え 感想	

2. 【対象選定】誰に・何を届けたいか考える

…あなたが震災遺産を通してメッセージを届けたい「相手」と「震災遺産」を選びましょう。

相手 ※丸を付ける	出身中の後輩 ・ 他県の高校生 ・ 海外の人(英語圏) ・ 震災経験者
震災遺産 (A～D 選ぶ)	
選んだ 理由	

3. 【問いづくり】「伝承者」として問いを創る…上記 2 で選んだ相手と震災遺産について、問いを考えてみましょう。

伝えたい こと	※その遺産を通して、相手に何を感じて・考えてほしいですか？
問い	※伝えたいことを届けるために、相手にどんな「問い」を投げかけますか？

作成者：福島県立磐城高等学校 地理歴史・公民科教諭 小峰 朱理菜

共同開発：福島県立博物館 筑波 匡介 氏

写真提供：福島県立博物館

※本ワークシートは学校教育目的での複写・使用・授業での活用が可能です。(二次配布・営利利用不可)

ご利用になる場合は小峰までご連絡頂けますと幸いです。【連絡先】 komine.syurina@fcs.ed.jp